

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	5 地域資源の活用
施策関係課	(市長室)広報課／(経済部)産業労働政策課・産業振興課・グリーンセンター／(教育総務部)文化財課

●施策の基本方針(目標)
本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。

●目標指標						
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:III-5)			単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	35.0(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	32.200	35.300	31.900	30.000	0.000
指標②	名称	記者会見・記者懇談会資料提供件数			単位	件
	目標値	40(令和7年度)	現状値	33(令和元年度)	指標の種別	活動
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	23.000	24.000	32.000	24.000	0.000
指標③	名称	川口市公式Twitterフォロワー数			単位	人
	目標値	10,000(令和7年度)	現状値	2,365(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値	5,635.000	6,876.000	7,622.000	8,613.000	0.000
指標④	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					
指標⑤	名称				単位	
	目標値		現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績値					

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	1,420,708	1,400,089	820,998	650,211	215,511
	概算人件費	138,961	138,754	140,778	154,224	118,524
	総事業費	1,559,669	1,538,843	961,776	804,435	334,035

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策①	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
		55	54	56	
(前回評価結果)	単位施策④		単位施策⑤	結果(平均値)	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	B			55.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度

令和6年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名	① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
観光事業	経済部 産業振興課	21,392	12,880	17,194	17,723	12,052	56	現状維持で実施	
		13,904	13,552	13,904	14,256	14,608			
地域物産館施設管理費	経済部 産業振興課	4,193	5,871	4,610	4,953	5,232	54	現状維持で実施	
		2,686	2,618	2,686	2,754	2,822			
グリーンセンター再整備事業	経済部 グリーンセンター	1,246,922	1,063,345	495,944	319,524	—	52	休止	
		39,500	38,500	39,500	40,500	—			
シティプロモーション事業	市長室 広報課	35,406	34,444	72,975	37,386	25,684	56	現状維持で実施	
		11,455	11,165	11,455	11,745	12,035			
その他広報事業	市長室 広報課	10,901	11,006	13,907	13,632	13,961	56	現状維持で実施	
		5,135	5,005	5,135	5,265	5,395			

単位施策名	② 歴史的資源の保護と活用								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
歴史自然資料館施設運営費	教育総務部 文化財課	18,429	17,745	17,728	17,606	18,107	54	現状維持で実施	
		1,738	1,463	1,343	1,377	1,411			
文化財保護事業	教育総務部 文化財課	—	—	—	36,997	44,740	50	現状維持で実施	
		—	—	—	12,636	20,916			
赤山城跡保存整備事業	教育総務部 文化財課	20,807	42,432	14,343	56,990	21,284	52	現状維持で実施	
		3,950	3,850	3,950	4,050	4,150			
遺跡発掘調査事業	教育総務部 文化財課	7,876	8,367	8,361	9,458	15,988	56	現状維持で実施	
		26,860	23,100	21,330	27,216	27,888			
旧田中家住宅指定管理者管理運営費	教育総務部 文化財課	0	0	18,538	13,904	—	52	休止	
		0	0	948	972	—			
郷土資料館施設運営費	教育総務部 文化財課	6,296	6,238	5,664	3,530	4,683	56	現状維持で実施	
		8,927	11,011	10,902	11,178	11,454			
その他文化財保護費	教育総務部 文化財課	3,322	975	736	756	982	56	現状維持で実施	
		3,160	3,080	3,160	3,240	3,320			

単位施策名	③ SKIPシティを活用した地域の活性化								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
NHK跡地整備事業	経済部 産業労働政策課	27,814	157,055	121,268	88,359	23,154	56	効率化して実施	
		17,775	17,325	18,960	10,935	6,640			
映像関連普及事業	経済部 産業労働政策課	0	4,731	4,730	4,393	4,644	56	効率化して実施	
		0	2,310	2,370	2,430	2,075			
映画祭関連事業	経済部 産業労働政策課	17,350	35,000	25,000	25,000	25,000	56	現状維持で実施	
		3,871	5,775	5,135	5,670	5,810			

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	観光事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施								
根拠法令等	地域資源活用事業補助金交付要綱、川口まちかど観光案内所事業実施要綱								

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景) 本市の特徴ある様々な地域資源(観光資源)を活用した観光振興に取り組むことで、魅力ある訪れたいまち、選ばれるまちを実現する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか) ・地域資源を活用した事業に対し、助成を行った。・市内桜名所の紹介動画を作成した。・観光PRポスターを作成した。・市内外のイベントに出店し、観光情報のPRを行った。・埼玉県公式観光サイト「ちよこたび埼玉」に観光スポットやイベント情報を掲載した。・SNSにより、市内の観光情報等を発信した。 ③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか) ①SNSインプレッション数が708,000回 ②地域資源補助金活用イベントの参加者数が約16,800人 ③まご兵衛が雑誌に取り上げられた。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績) 市内の観光地点をウォーキングルートとして結ぶ11種のマップを各所へ配架。市内外のイベントへ9回出店し観光グッズなどを配布、地域資源の広報活動などで市内外へ本市の魅力をPRした。 ・観光PRキャラクターとして、まご兵衛を作成した。 ・SNSを年間1,181件ポストを行った。 ・地域資源補助金の交付を6件行った。		
	④評価 ①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題 観光物産協会、商工団体、緑化団体、商店街等と協力・連携し、地域資源を活用する事業を展開する必要がある。また、発展した事業を展開するため、情報共有・収集に努め、連携した事業展開を目指す。更には新たな生活様式に沿ったイベント等の企画を策定SNS等発信をしていく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域資源活用事業補助金交付件数		指標・目標値の説明(算定式)	地域資源を活用した事業を行う地域団体への助成。			
	単位	件	指標の種別					
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		7.00			7.00	7.00	7.00	
	実績値・達成状況	6.00 未達成			4.00 未達成	6.00 未達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		7 款	1 項	2 目	5 細目	1 細々目	観光事業
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)	18,943		19,033		18,751		12,052	
決算額(B)=(C)+(D)	12,880		17,194		17,723			
財源※	特定財源(C)		0		0		0	
	一般財源(D)		12,880		17,194		17,723	
	概算人件費(E)		13,552		13,904		14,256	
	従事職員人件費(人)	常勤	再任用	1.76	0.00	1.76	0.00	1.76 0.00
総事業費【(A)又は(B)+(E)】	26,432		31,098		31,979		26,660	
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。								

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性		
56 /60	観光物産協会、商工団体、緑化団体、商店街等と協力・連携し、地域資源を活用する事業を展開する必要がある。発展した事業を展開するため、情報共有・収集に努め、連携した事業展開を目指す。更には新たな生活様式に沿ったイベント等の企画を策定していく。				翌年度 現状維持で実施		
					翌々年度 現状維持で実施		

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	地域物産館施設管理費				担当	経済部 産業振興課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施								
根拠法令等	赤山歴史自然公園内地域物産館貸出要綱								

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	イナバーカ川口の賑わいの拠点として、地場産農産物の販売などを行い、地域の振興を図る。				地域物産館で集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸出し、地域コミュニケーションの活性化に繋げる。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)				②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	地域物産館のPRに繋がるため、集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸出した。				地域物産館の貸出しが年間80日あり、集客性の高いイベントやワークショップが開催された。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)				①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	地域物産館を集客性の高いイベントやワークショップの開催により、地域コミュニケーションの活性化に繋がった。				より多くのイベント等が実施されるよう、利用促進を図る必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域物産館貸出日数		指標・目標値の説明(算定式)	地域物産館(こもれびラウンジ・こもれびホール・グリーンマーケット)における貸出日数		
	単位	日	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度
		85.00			85.00	85.00	85.00
指標②	名称						
	単位			指標・目標値の説明(算定式)			
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	107.00	達成	89.00	達成	80.00	未達成

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		7 款	1 項	2 目	7 細目	1 細々目	地域物産館施設管理費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		6,247		5,171		5,072		5,232		5,778
決算額(B)=(C)+(D)		5,871		4,610		4,953				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	5,871		4,610		4,953		5,232		
概算人件費(E)		2,618		2,686		2,754		2,822		2,822
従事職員人件費(人)	常勤	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		8,489		7,296		7,707		8,054		8,600

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価			
必要性	現在の市民のニーズ	高かった		15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり		13 /15			
	市閥与の必要性	高かった				施策(上位目的)への貢献	高かった					
	将来的な市民のニーズ	見込める				目的に対する事業内容	適正					
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない		11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正		15 /15			
	業務プロセス改善	行った・既に行った				受益者負担の水準	適正					
	民間活用	検討した				対象者への周知	十分行った					

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など					今後の実施方向性		
54 /60	令和6年度から地域物産館を除く赤山歴史自然公園の指定管理が開始されたことから、地域物産館が賑わうための運用等について関係各課と調整を図る。					翌年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	グリーンセンター再整備事業				担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元 年度	～	令和	6 年度		
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施						
根拠法令等							

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
施設の老朽化や市民の利用ニーズ、社会状況の変化等に対応した施設の再編を図るもの。			活性化基本計画に基づく園内の施設再編やインフラの再整備。 防災拠点の機能強化となるオープンスペースの拡充や防災関連施設の導入等。 収益や集客の向上を目的とした管理運営形態の構築。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
第3期整備事業に係る基本・実施設計等の委託業務。 第2期整備事業に係る第4駐車場整備工事及び関連する調査業務等。			第4駐車場の供用開始。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
防災拠点の機能強化となるオープンスペースの増加。 繁忙期における周辺道路の渋滞緩和や利用者の利便性の向上。			昨今の建築資材や人件費の高騰等により当初計画予算を大幅に超えたこと、また、全国的な大型プロジェクトの影響により一定期間、技術者を確保することが困難であることなど、様々な要因により再整備が一時休止となった。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
		令和5年度						
		令和6年度					指標・目標値の説明(算定式)	
		令和7年度						
		令和8年度						
		実績値・達成状況						
指標②	名称						指標・目標値の説明(算定式)	
	単位							
	目標値	令和4年度						
		令和5年度						
		令和6年度						
		令和7年度						
		令和8年度						
		実績値・達成状況						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	6 款	1 項	5 目	2 細目	3 細々目	グリーンセンター再整備事業
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		1,126,585	628,889		325,319		0	
決算額(B)=(C)+(D)		1,063,345	495,944		319,524		0	
財源※	特定財源(C)	487,320	91,272		137,970		0	
	一般財源(D)	576,025	404,672		181,554		0	
概算人件費(E)		38,500	39,500		40,500		0	
従事職員人件費(人)		常勤	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	0.00
従事職員人件費(人)		再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		1,101,845	535,444		360,024		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
52 /60	グリーンセンターの再整備事業については、令和6年度をもって一時休止となつたが、今後、高騰する事業費の縮減を目指すとともに、様々な整備手法の導入を検討するなど、再開に向けて、全体的な整備計画の見直しを図つて行く。	翌年度 休止 翌々年度 一

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	シティプロモーション事業				担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	−	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施						
根拠法令等							

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)						
	市内外に向けて本市の魅力をPRすることにより、来訪者の増加や移住促進を図るとともに、市民の地域愛を醸成することで定住促進を図っていく。			一人でも多くの若者世代や子育て世代、そして本市の伝統であるものづくり産業の担い手、起業者等を市外から本市により多く呼び込み、移住・定住者の増加や市民のさらなる地域愛の向上をめざす。						
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」で地域と行政の情報発信、Instagram「川口Style」を新たに立ち上げた ・川口市マスコット「きゅばらん」を活用したPR活動 ・川口市公式X(旧Twitter)、定住促進冊子を活用した本市知名度の向上、市内外の広告ビジョンなどでの市政情報、PR動画の放映 			<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」において、市内の楽しい場所やイベント、歴史などの情報を発信する川口市こどもホームページを作成 ・川口Styleは72件の投稿を行った ・コミュニケーション85件、キャスティビション108件の市政情報を放映 ・交通広告(埼玉高速鉄道4/1～)で本市PR動画を放映 						
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題						
	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携地域情報ウェブサイト「トリコカワグチ」において、トップページの閲覧数は月間10万PVを達成 ・川口Styleはフォロワーを7,955人獲得 ・川口市公式X(旧Twitter)のフォロワー数の目標数値は未達成であったものの、千人程度増加できた。 			<ul style="list-style-type: none"> ・川口市公式Xフォロワー数の伸びが鈍化しているが、新たに立ち上げた「川口Style」のフォロワー数は7,955人となり、川口市公式Xを上回るペースでフォロワーを獲得することができた。 						

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市公式X(旧Twitter) フォロワー数		指標・目標値の説明(算定式)	川口市公式X(旧Twitter) フォロワー数(令和7年度末目標値…10,000人 年間増加目標値…1,240人)			
	単位	人	指標の種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値	6,280.00			7,520.00	8,760.00	10,000.00	
指標②	名称							
	単位	指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	6,679.00	達成	7,622.00	達成	8,613.00	未達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	2 款	1 項	10 目	2 細目	4 細々目	シティプロモーション事業
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
予算額(A)		34,675	74,130		37,825		25,684	
決算額(B)=(C)+(D)		34,444	72,975		37,386		11,300	
財源※	特定財源(C)	2,726	2,817		2,294		2,016	
	一般財源(D)	31,718	70,158		35,092		23,668	
概算人件費(E)		11,165	11,455		11,745		12,035	
従事職員人件費(人)	常勤	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		45,609	84,430		49,131		37,719	
※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。								

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性				
56 /60	日本全体の人口減少をみても、本市の人口も早晚ピークアウトを迎えるという危機感を持ち、数多いプロモーションの中で埋もれないようなPR方法を模索する必要がある。川口市が持っている多くの魅力を継続して発信するよう、従来の事業内容に加え、新たな魅力発信のための手段を模索していく。	<table border="1"> <tr> <td>翌年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>翌々年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	翌年度	現状維持で実施	翌々年度	現状維持で実施
翌年度	現状維持で実施					
翌々年度	現状維持で実施					

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	その他広報事業			担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施					
根拠法令等						

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)				事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	川口市掲示板を活用し、市民に行政情報を提供するもの。				市政への関心を高めることで、市民参加のまちづくりを推進すること。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか) ・市内に約1,000基ある掲示板の維持管理及び市等が発行ボスターの貼付				②アウトプット(①を実施した結果・実績) 毎月1~15日、16日~月末の2回を期間に市発行ポスター等を貼付するとともに、町会からの要望により、掲示板の新設・移設・修繕を随時行つた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか) 掲示板は市内の人目に付きやすい場所に設置しており、広報効果は極めて高く、市民に各種行政情報を提供することができた。				①~③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題 掲示板は設置場所の変更や、盤面の劣化によるメンテナンスなど多額の経費が掛かっている。また、交差点など見通しを悪化させる原因となる場所に設置されているものもあることから、設置状況等の精査を行っていきたいが、市内に約1,000基あるため、膨大な時間を要する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位							
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位							
	目標値	令和4年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		2 款	1 項	10 目	2 細目	5 細々目	その他広報事業		
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)	11,128		14,066		13,685		13,961		13,052	
決算額(B)=(C)+(D)	11,006		13,907		13,632					
財源※	特定財源(C) 一般財源(D)									
概算人件費(E)	5,005		5,135		5,265		5,395		5,395	
従事職員人件数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費【(A)又は(B)+(E)】	16,011		19,042		18,897		19,356		18,447	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市関与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	13 /15
	業務プロセス改善		行った・既に行つた			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行つた			対象者への周知		行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性		
56 /60	野外に設置しているため、風雨による破損やいたずら等のリスクを内包している。しかしながら、市内各所での情報提供ツールとして不可欠なことから、引き続き事業を実施する。				翌年度	現状維持で実施	

翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	歴史自然資料館施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度						
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-②歴史的資源の保護と活用								
根拠法令等	川口市立文化財センター設置及び管理条例								

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
歴史自然資料館の運営を通じて本市の魅力を発信することにより、市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらう。			より多くの市民に郷土の歴史・文化を学んでもらう機会を設けることによって、理解を深めてもらうとともに、市民の郷土愛を醸成していく。
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
歴史自然資料館を運営(映像ギャラリー・常設展示室の一般公開)し、企画展(2回)やワークショップ(11回)、その他のイベント(1回)を毎月開催することにより、誘客を図った。			左記のほか、常時開催のブチワークショップとして、歴史クイズ・ぬりえを実施し、特に子どもたちも楽しく気軽に歴史・文化を学べる機会を設けた。 それにより、前年度の来館者数、目標値を上回ることができ、年間来場者数は46,457人となった。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
歴史自然公園内であること、ハイウェイオアシスと連結しているなどの立地を活かした施設で、郷土の歴史・文化を学べる機会を設けたことにより、気軽に郷土の歴史・文化に触れられることになった。			引き続き常設展示の公開やイベントの開催を行うことで誘客を図り、来館者数のさらなる増加を図っていく。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	歴史自然資料館の来館者数		指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出			
	単位	人	指標の種別					
	目標値		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			50,000.00	65,000.00	40,500.00	46,300.00	46,500.00	
指標②	名称							
	単位				指標・目標値の説明(算定式)			
	目標値		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
実績値・達成状況		65,369.00	達成	40,239.00	未達成	46,457.00	達成	達成

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	9 細目	1 細々目	歴史自然資料館施設運営費		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)		17,908		17,785		17,747		18,107	18,338
決算額(B)=(C)+(D)		17,745		17,728		17,606			
財源※		特定財源(C)		0		0		0	0
一般財源(D)		17,745		17,728		17,606		18,107	18,338
概算人件費(E)		1,463		1,343		1,377		1,411	1,245
従事職員人件費(人)		常勤	再任用	0.19	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		19,208		19,071		18,983		19,518	19,583

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	展示やイベント等の充実を図るとともに、旧跡赤山城跡への見学にもつながる魅力ある運営を実施する。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	文化財保護事業				担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	18421	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用						
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、川口市文化財保護条例						

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)						
	市内に所在する文化財等の管理・調査・整理を行い、市民の財産である文化財の保存と活用に努める。			市内に所在する文化財等の保存を図り、次の世代に継承するとともに、展示等に活用することにより市民の文化財愛護精神と郷土川口への郷土愛を育む。						
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書等文献資料を調査・収集し、保存処理・分類・整理・保管を行った。 ・民俗資料の調査・収集・整理し、洗浄、計測等を実施した。 ・木曾呂の富士塚及び赤山陣屋跡の樹木等の管理及び看板の修繕を実施した。 			<ul style="list-style-type: none"> 古文書等文献資料及び民俗資料文化財資料について、適切に保存することにより展示するとともに必要に応じて資料の貸し出し等で活用することができた。 木曾呂の富士塚及び赤山陣屋跡の、樹木剪定、看板を現在の見解に沿った内容に変更し、文化財の保存と周知を行うことができた。 						
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題						
	<p>文化財等を適切に保存することにより、次世代に継承することができている。</p> <p>また、赤山陣屋跡に見学に来るかたに、赤山の歴史を伝え、魅力を発信することができ、市内の文化財についての関心を高めることできた。</p>			<p>古文書等の文献資料や民俗資料文化財資料の整理・分類等を行い、刊行物作成や、文化財への指定・登録等に向けた調査を進めている。</p> <p>また、木曾呂の富士塚及び赤山陣屋跡は、状態を維持し、保存している。課題として、増加する資料の展示・保管施設の老朽化と収容力不足に対応するため、既存施設を更新する必要がある。</p>						

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書等文献資料の収集件数		指標・目標値の説明(算定式)	所有者からの調査依頼等によって適宜行われるものであり、目標値を事前に設定できない			
	単位	件	指標の種別		結果			
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		-	-		設定なし	設定なし	設定なし	
	実績値・達成状況	-	-	-	3.00	-	-	
指標②	名称	民俗資料整理点数		指標・目標値の説明(算定式)	民俗資料整理点数			
	単位	点	指標の種別		活動			
	目標値	令和4年度	令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		-	-	-	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
	実績値・達成状況	-	-	-	4,693.00	達成	-	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	2 細目	1 細々目	文化財保護事業	
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		0	0		38,390		44,740		48,109
決算額(B)=(C)+(D)		0	0		36,997				
財源※	特定財源(C)	0	0		75	135			
	一般財源(D)	0	0		36,922	44,605			
概算人件費(E)		0	0		12,636	20,916		18,509	
従事職員人件費(人)	常勤	0.00	0.00	0.00	1.56	0.00	2.23	0.00	2.23
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		0	0		49,633	65,656		66,618	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	文化財等の適切な調査・取り扱いのできる専門職員の確保と、老朽化が進む展示施設や、分散により、管理に要する負担が増えている収蔵施設を集約することにより、費用を削減したい。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	赤山城跡保存整備事業				担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	2 年度	~	年度						
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用									
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例									

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち義務的なもの			実施形態	一部委託					
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)							
県の旧跡で本市の重要な歴史遺産である「赤山陣屋跡」を保存するため、公有地化整備を行うもの。			赤山陣屋の文化・歴史を継承し、魅力を発信することで、多くの交流や活動を生み出し、まちの活性化を図る。特に空堀の復元・整備による学習・憩いの場の提供、駐車場用地確保による利便性向上と、景観の保全を図る。							
当該年度の実施内容及び成果			①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)					
赤山城跡の保存整備を図るため、旧跡範囲内の土地の購入を行った。それに伴って都度必要な測量委託等の購入手続きに係る事務等も進めた。			赤山城跡保存整備対象地内5筆(1,748.74m ²)の購入							
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題							
堀や遊歩道に面する用地の一部を購入したことで、旧跡の保存を図るとともに、その活用に供することができるようになつた。			令和6年度末で保存整備対象地内の事業進行率は24.61%となつたが、まだ進行率は低い。							

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公有地化		指標・目標値の説明(算定式)	旧跡の公有地化		
	単位	m ²	指標の種別		結果		
	目標値	令和4年度		令和6年度	令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	1,567.94		485.00	1,728.00		522.00
指標②	名称						
	単位			指標・目標値の説明(算定式)			
	目標値	令和4年度			令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況						令和8年度

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	2 細目	2 細々目	赤山城跡保存整備事業	
年度			令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)			48,178	17,636			61,613	21,284		41,689
決算額(B)=(C)+(D)			42,432	14,343			56,990			
財源※	特定財源(C)		38,100	12,900			51,200	19,100		
	一般財源(D)		4,332	1,443			5,790	2,184		
概算人件費(E)			3,850	3,950			4,050	4,150		2,490
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.15	0.00	0.30	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			46,282	18,293			61,040	25,434		44,179

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市閥との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	保存整備対象地が広大であり、買収および整備に長い年月を要する。そのため、旧跡の有効的な活用を検討したうえで購入を行っていく必要がある。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	遺跡発掘調査事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	~	年度		
第5次川口市総合計画	III	産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助要項、文化財保存事業費関係補助金交付要綱					

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
個人・事業者による各種開発事業に伴う、埋蔵文化財包蔵地内の範囲確認調査及び確認された遺跡の発掘調査			発掘調査して遺跡を記録し、出土した遺物等を整理作業して報告書を刊行
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
範囲確認調査を21件、発掘調査を6件、及び令和5年度に実施した発掘調査報告書を1件と川口市遺跡調査会未刊報告書3件合冊を刊行した。尚、上記の件数は文化財課予算での実施調査件数であり、他にも開発原因者負担による調査(発掘調査1件、報告書刊行1件)を実施している。			埋蔵文化財の記録保存が図れた。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
埋蔵文化財包蔵地内の開発事業を実施できた。			埋蔵文化財の適切な保存と、開発事業との円滑な調整を図っていく。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	範囲確認調査の件数		指標・目標値の説明(算定式)	開発行為に伴い実施するものであり、目標値を事前に設定できない。				
	単位	件	指標の種別		結果				
	目標値		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況		設定なし	設定なし		設定なし	設定なし	設定なし	
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別			令和4年度		令和5年度	令和6年度	
	目標値		令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	3 細目	1 細々目	遺跡発掘調査事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		9,490	11,170	11,138	15,988	16,694		
決算額(B)=(C)+(D)		8,367	8,361	9,458				
財源※	特定財源(C)	3,150	3,150	3,150	3,150			
	一般財源(D)	5,217	5,211	6,308	12,838			
	概算人件費(E)	23,100	21,330	27,216	27,888	27,888		
従事職員人件数(人)	常勤	0.00	2.70	0.00	3.36	0.00	3.36	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		31,467	29,691	36,674	43,876	44,582		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
56 /60	今後も、必要な発掘調査を適切に実施する。		翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	旧田中家住宅指定管理者管理運営費				担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先			新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	~	令和	6 年度		
第5次川口市総合計画	III	産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例						

2 事業概要

事業の概要	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
重要文化財である洋館・和館・文庫蔵・煉瓦堀とその他の庭園・茶室を含めた敷地全体を保全・公開し、地域の歴史・文化の発信と地域交流の場として活用する。(耐震診断基準を満たさないため1月から休館)			見学者に旧田中家住宅の魅力を感じてもらうと共に、長きにわたり、文化財への理解を深めてもらう場所とする。市民の文化財保護意識の高揚と、地元川口の歴史や文化への親しみと感心を深める。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
施設の保存・管理等のほか、アトリアとの連携イベントで旧田中家住宅の歴史と川口の茶の文化が学べる展覧会「旧田中家住宅-川口の商家の贊と茶の文化-」の開催や、端午の節供・端午の茶会などを開催した。 また、貸館により、国指定重要文化財の活用に努めた。			展覧会に919人、その他のイベントに延べ1,159人が参加した。
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
閉館前ということもあるが、年間の来館者数が6,149千人にのぼり、国指定文化財の活用、市民へのPRにつながった。			指定管理業務は、アートギャラリー・アトリアと合体して令和5年4月1日から令和10年3月31日の協定期間であったが、耐震改修事業実施により令和7年1月から旧田中家住宅が休館となつたため、指定管理業務から外れた。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧田中家住宅来館者数	指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出。なお、指定管理委託前は業務委託による管理を行っていた。				
	単位	g／人・日		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	0.00		0.00		4,700.00	—	—
指標②	名称			実績値・達成状況	0.00	5,904.00	—	6,149.00 達成
	単位							
	目標値	令和4年度		実績値・達成状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目			川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	5 細目	5 細々目	旧田中家住宅指定管理者管理運営費	
年度			令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度	令和8年度
予算額(A)			0	18,538			13,904		0	0
決算額(B)=(C)+(D)			0	18,538			13,904			
財源※	特定財源(C)		0	0			0		0	
	一般財源(D)		0	18,538			13,904		0	
概算人件費(E)			0	948			972		0	0
従事職員人件費(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]			0	19,486			14,876		0	0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	令和7年1月から耐震工事に入る予定で休館となり、指定管理業務自体は終了している。 しかし、耐震工事のための調査工事が令和7年度に完了するが、耐震工事自体が財政上の都合で延期となつたため、今後の公開可能になる時期は見込めない状況となつて。	翌年度	休止

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	郷土資料館施設運営費				担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-		問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 23 年度	～	年度								
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用										
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例										

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	一部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)									
	市民に対し本市に係る歴史等の企画展・イベントなどを開催し郷土の歴史・民俗・文化についての理解を促す。									
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)									
	[一般対象] ・企画展「大熊☆氏廣-入門編・『大熊氏廣作品集』の世界-」 ・企画展に関連した「郷土資料館歴史講座」 ・古文書を学ぶ「古文書講座初級編・中級編」 [小中学生対象]・「夏休み子ども体験教室」 ・収蔵資料を活用した歴史教室、社会科見学									
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)									
	企画展入場者数1,865人 ・郷土資料館歴史講座29人 ・古文書初級編(3日間 延べ38人)、中級(2日間 延べ23人) ・夏休み体験教室(夏休みスタディーサポート41人)(ベーゴマで遊ぼう(2日間54人)(まが玉を作ろう25人) ・歴史教室:延べ256校28,044人 社会科見学延べ6校337人									
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)									
	郷土川口の歴史・民俗・文化について理解を広げるとともに郷土の愛着を高めることができた。									
	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題									
	本市の歴史や伝承(民俗)を伝える拠点として、企画展やイベント、講座などを開催し多くの来館者の得ており、来館する方々に広く本市の歴史等を伝え郷土への愛着を高めている。									

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	郷土資料館来館者数		指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出			
	単位	人	指標の種別		結果	過去の来館者数の推移を基に算出		
目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		5,000.00		4,000.00	6,000.00	7,400.00	7,450.00	
実績値・達成状況	3,467.00 未達成		5,874.00	達成	7,257.00	達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	人	指標の種別					
目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	7 細目	1 細々目	郷土資料館施設運営費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		6,785	6,612	4,798	4,683	6,558		
決算額(B)=(C)+(D)		6,238	5,664	3,530				
財源※		特定財源(C)	1,437	1,294	1,508	1,509		
		一般財源(D)	4,801	4,370	2,022	3,174		
概算人件費(E)		11,011	10,902	11,178	11,454	11,454		
従事職員人件費(人)		常勤	0.00	1.38	0.00	1.38	0.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		17,249	16,566	14,708	16,137	18,012		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	SNSでの発信することで資料館の知名度を子どもから大人まで高め、さらにオンライン事業の実施や常設展示や企画展示の充実を図ったことは、来館者の増加に繋がり、郷土川口への愛着に大きく寄与した。	翌年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	その他文化財保護費				担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元 年度	~	年度			
第5次川口市総合計画	III	産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	川口市文化財保護条例、川口市管理維持費交付要綱、川口市文化財保存事業費交付要綱						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)			事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
指定文化財所有者および保持団体に対し、指定文化財の維持管理・修理・活用するための各補助金の交付を行う。また、情報収集・交換を行うことを目的として、各協会・協議会に所属する。			各補助金を指定文化財所有者・保持団体に交付することにより、本市にとって重要な文化財の保護に寄与する。また各協会・協議会での情報収集・交換により、文化財保護を担当する職員の知識向上につなげる。
①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)
指定文化財補助金(指定文化財管理維持費補助金、無形民俗文化財保存継承費補助金)の交付事業を行った。 ・川口市郷土史会への交付金、県文化財保護協会・県博物館連絡協議会・県地域史料保存活用連絡協議会への負担金を交付した。			指定文化財管理維持費補助金交付 建造物8件、有形文化財23件計31件 ・無形民俗文化財保存継承費補助金交付 5件 文化財課職員の各協会・協議会主催の研修会等への参加
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
各所有者・保持団体が行う指定文化財の維持管理・修理・活用事業の適切な遂行の一助となった。			補助金の交付は申請があった場合に交付するため、補助金未交付である指定文化財の保護も意識的に行う必要がある。

3 事業活動・成果の状況

指標 ①	名称	指定文化財補助金交付件数		指標・目標値の説明(算定式)	文化財所有者の申請に応じて実施するものであり、目標値を事前に設定出来ない。				
	単位	件	指標の種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	令和4年度	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
実績値・達成状況	29.00	—	30.00	—	31.00	—			
指標 ②	名称								
	単位	指標の種別	指標・目標値の説明(算定式)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
目標値	令和4年度	令和5年度		設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
実績値・達成状況									

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	8 細目	1 細々目	その他文化財保護費
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		1,050	1,050	1,083	982	978		
決算額(B)=(C)+(D)		975	736	756				
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0	0		
	一般財源(D)	975	736	756	982	982		
概算人件費(E)		3,080	3,160	3,240	3,320	1,411		
従事職員人件費(人)	常勤	0.40	0.00	0.40	0.00	0.17	0.00	0.17
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		4,055	3,896	3,996	4,302	2,389		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
		翌年度	現状維持で実施
56 /60	指定文化財を次世代へ継承していくうえでの課題を把握し、適切な補助金の交付と文化財保護支援を検討していきたい。		翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	NHK跡地整備事業				担当	経済部 産業労働政策課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-258-1619	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度	～	年度				
第5次川口市総合計画	III	産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化					
根拠法令等	さいたま新産業拠点整備計画、さいたま新産業拠点(SKIPシティ)B街区利用計画、SKIPシティ利活用基本計画						

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		
	・産業振興施設の整備及び商業施設(物販・飲食)を整備することで、映像関連産業と事業者支援機能が集まる賑わいのあるまち(SKIPシティ)を形成する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		
	・事業用定期借地権として賃借しているSKIPシティC2街区に、商業施設を整備した。 ・SKIPシティC2街区プロムナードの設計及び敷設工事委託を行った。 ・SKIPシティC街区における安全性確保のための修繕を行った。		
	②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	C2街区にヤオコー(スーパー)がオープンした。 ・プロムナードが完成し、C街区北東側と南側の行き来ができるようになった。 ・プロムナードを照らす照明ポールを1基、C街区西側のメッシュフェンス50mを修繕した。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		
	C2街区に商業施設がオープンし、人の往来が生まれたことで、賑わいのあるまちの形成に向け前進した。また、B街区にはNHK川口施設の工事が進行しており、映像関連産業の集積に向け進捗している。 課題としては、C1街区について、整備計画が停滞しており、整備に向け改めて検討することがあげられる。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティC街区における施設整備進捗状況			指標・目標値の説明(算定式)	SKIPシティC街区における施設整備完了までの割合			
	単位	%	指標の種別	結果		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値	20.00		40.00		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況	20.00	達成	40.00		45.00	50.00	55.00	
指標②	名称								
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目	川口市一般会計		7 款	1 項	2 目	2 細目	2 細々目	NHK跡地整備事業			
年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	167,136			124,328			89,701		23,154		
決算額(B)=(C)+(D)	157,055			121,268			88,359		66,063		
財源※	特定財源(C)			5,100			24,000		0		
	一般財源(D)			151,955			88,359		23,154		
	概算人件費(E)			17,325			10,935		6,640		
	従事職員人件費(人)	常勤	再任用	2.25	0.00	2.02	0.00	1.35	0.00		
	174,380			140,228			99,294		29,794		
	総事業費[(A)又は(B)+(E)]								72,703		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目		判定	視点評価	視点	評価項目		判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ		高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果		期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性		高かった			施策(上位目的)への貢献		高かった	
	将来的な市民のニーズ		見込める			目的に対する事業内容		適正	
効率性	コストに対する成果		高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件		適正	13 /15
	業務プロセス改善		行った・既に行つた			受益者負担の水準		適正	
	民間活用		行った・既に行つた			対象者への周知		行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性		
56 /60	C1街区について、施設整備に向け改めて検討を行っていく。				翌年度	効率化して実施	
					翌々年度	効率化して実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	映像関連普及事業				担当	経済部 産業労働政策課	
事業区分	通常事業	~	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度	~	年度								
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化										
根拠法令等											

2 事業概要

事業分類	自治事務のうち任意のもの			実施形態	全部委託					
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいか・実施の背景)									
	市内小学生が映像制作の楽しさ等を体験することにより、映像関連産業を核とした次世代産業の導入・集積のための人材育成に寄与すること、また制作作品を広く紹介することで映像関連事業の普及・啓発を目的とする。									
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)			②アウトプット(①を実施した結果・実績)						
	・市内小学生がCGアニメーションを制作 ・市内小学4・5・6年生が、演出、主演、撮影、編集等全てを担当し、映画を制作 ・制作作品の公開、上映			CG教室参加人数 165人 ・子ども映画クラブ参加人数 24人						
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)			①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題						
	・川口市内の小学生がCG教室や短編映画制作をとおして、次世代産業への理解・興味・関心が向上した。			定員を上回る応募があり、多くの市内小学生が参加することにより、映像制作に対する興味関心の向上に寄与している。						

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	CG教室参加希望者		指標・目標値の説明(算定式)	定員に対して、参加希望者が上回る人数				
	単位	人	指標の種別		結果				
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		180.00			180.00		180.00	180.00	180.00
	実績値・達成状況	854.00	達成		756.00	達成	504.00	達成	
指標②	名称								
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度			令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	1 細目	4 細々目	映像関連普及事業
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)		4,731	4,731	4,731	4,644	3,650		
決算額(B)=(C)+(D)		4,731	4,730	4,393				
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0	0		
	一般財源(D)	4,731	4,730	4,393	4,644	2,075		
概算人件費(E)		2,310	2,370	2,430	2,075	2,075		
従事職員人件費(人)	常勤 再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.25	0.00	0.25 0.00
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		7,041	7,100	6,823	6,719	5,725		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行つた			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行つた			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	事務費等の見直しによるコスト削減を検討しつつ、引き続き映像制作体験教室を実施し、次世代産業への興味関心の向上を図る。	翌年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度

令和6年度

事業名称	映画祭関連事業				担当	経済部 産業労働政策課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1619	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度	～	年度	
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化			
根拠法令等	SKIPシティ国際映画祭開催基本方針			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
・SKIPシティを拠点に新産業の振興としてデジタルシネマの普及を通じた映像関連産業の育成を推進。 ・映像クリエイターの発掘と育成を図り、市民の映像産業への関心を高め、デジタルシネマの裾野を拡充。			将来本市の産業の核となる映像関連産業の集積を図る。
当該年度の実施内容及び成果		①アクション(当該年度に何を実施したか)	
・スクリーン上映とオンライン配信の2つの方式で映画祭を開催。 ・国際及び国内コンペティションを実施。 ・過去のノミネート監督によるオープニング映画を上映。 ・野外上映、アンケート上映、ワークショップ等の企画を実施。		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
・入場者数7,046人、オンライン配信視聴回数3,491回、合計10,537人・回。 ・ノミネート作品数1,201作品(102か国)			
③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・本市を拠点とする映画祭の認知度が向上し、来場者や関係者の増加に伴う賑わいを創出することで地域経済の活性化に寄与した。			・平日の来場者数が伸び悩んでおり、幅広い層の集客が課題である。 ・コアな映画ファンのみならず、幅広い層が楽しめる企画を行う必要がある。 ・クリエイターの発掘には一定の成果を上げているものの、育成に関する取り組みが十分ではないため、今後はクリエイターの育成を強化する取り組みが必要である。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭視聴者数	指標・目標値の説明(算定式)	前年度の視聴者数(視聴回数)を上回る数						
	単位	回		指標の種別	結果	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		8,465.00				8,541.00		11,393.00	10,537.00	10,537.00
実績値・達成状況		8,541.00	達成		11,393.00	達成	10,537.00	未達成		
指標②	名称	指標・目標値の説明(算定式)								
	単位	指標の種別	結果	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標値										
実績値・達成状況										

4 年度別事業費 (単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	1 細目	5 細々目	映画祭関連事業		
年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
予算額(A)		35,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	22,000
決算額(B)=(C)+(D)		35,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	22,000
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源(D)	35,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	
概算人件費(E)		5,775	5,135	5,670	5,810	5,810	5,810	5,810	5,810	
従事職員人件費(人)	常勤	0.75	0.00	0.65	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70
総事業費[(A)又は(B)+(E)]		40,775	30,135	30,670	30,810	30,810	30,810	30,810	30,810	27,810

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市閥との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減策や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
56 /60	デジタルシネマが主流の現代では、最新技術や将来有望な映像コンテンツを取り入れる企画、家族や若年層向けの企画等を検討することで来場者の拡大を図る必要がある。また、集客が見込める週末や祝日のイベント企画を強化したり、開催日程を再構成することで効率的な運営を行い、コストの削減を図ることも必要と考える。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 効率化して実施